

～「本のまち」から～

聖籠町立図書館通信

2021. 1

No. 19

2021年1月20日発行

編集・発行 聖籠町立図書館

URL <http://www.lib-seiro.jp>

MAIL info@lib-seiro.jp

いくつになっても図書館へ

聖籠町立図書館は、「地域交流館なごみの家」のみなさんとの交流を行っています。みなさんに図書館においでいただいたり、図書館の職員が施設にお邪魔して読み聞かせをする事もあります。季節を感じる昔話から話題が広がって、自分の子ども時代の話になることも。毎回、なごやかで楽しい時間となっています。

読書は心を豊かにしてくれます。それは、いくつになっても変わりません。ところが、年齢を重ねて「字が見えにくくなった」「図書館まで行く『足』がない」と、様々な理由で図書館から遠ざかる方もいらっしゃいます。そうした方に、少しでも図書館を身近に感じていただけるように、これからもサービスを提供していきます。



↑ 図書館の中で読み聞かせ
← 読み聞かせの後、七夕の短冊を飾りました



← なごみの家での読み聞かせ

なごみの家へ →
2ヵ月ごとに50冊貸出ししています



「なごみと図書館のかかわり」

なごみに参加されている皆さん（平均八七歳）は、「図書館はなごみの隣にあるけど、行ったことないな」「新聞読むけど、本を借りに行ったことないな」と、窓から図書館を眺めていました。隣同士でありながら、ちよっぴり遠い場所でした。

そんな時、図書館の職員さんが一緒に楽しい時間を過ごしませんか？と声をかけてくださり、なごみと図書館のかかわりが始まりました。本の読み聞かせや紙芝居を読んでもらい、「大人になってから誰かに読んでもらったことなかったよね」と。

季節の本や紙芝居を読み聞かせして下さるのですが、目の見えにくい方、耳の聞こえにくい方、色々な方がいらっしゃいますが、それぞれ五感を使って感じていらっしゃるようです。

そして、私たちスタッフも本の世界に引き込まれています！

「今まで仕事が忙しくてなかなか本を読む時間がなかったけど、今はなごみでも図書館の本を読むことができるし、最近では家でも物忘れ防止に本を読んでもらうんだ」という声も聞かれます。

ちよっぴり遠い場所でしたが、きっかけを頂き、とってもステキな出会いになりました。

なごみの家 職員

吉川 里奈

図書館の資料を大切に

令和2年10月、図書館所蔵の新聞が切り取られる被害がありました。残念なことに、こうした被害は過去にもあり、新聞に付いている割引券の部分が切り取られたこともあります。

図書館の資料は町の財産です。必要とする他の人のためにも、傷つけたり、持ち去ったりする行為はおやめください。

図書館の資料は、必要な部分を複写することもできます。新聞であれば、次号が発行されれば複写ができるようになり、記事の全文複写が可能です（コピー1枚につき10円の実費負担）。必要な方は、こうしたサービスをぜひご利用ください。



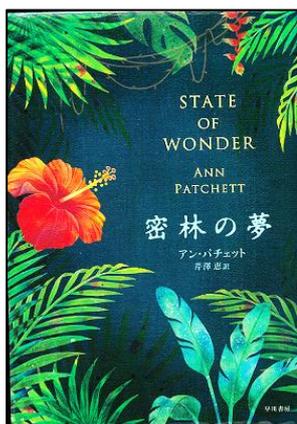
←1面分を丸ごと切り取られています。
（「日刊スポーツ」2020年10月19日号）

今号のおすすめ本

「密林の夢」

アン・パッチェット/著、早川書房

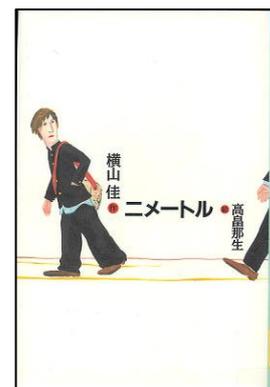
会社の新薬開発に関わっていた同僚の死を調査することになった研究員（医師・女性）が挫折の記憶やアマゾン奥地の環境に苦悩しながらも自分の道を求め困難と格闘します。さわやかな読後感を味わえるミステリー。
（図書館長より）



「二(に)メートル」

横山 佳/作、BL 出版

新型コロナウイルス対策の一つである、ソーシャルディスタンスみたいなタイトルですが、男子高校生ふたりの物語。2メートルという微妙な距離を中心に近づいたり離れたりする…。なかなかホンワカします。
（図書館員 A より）



～おすすめの本 募集しています！

あなたが図書館で出会った素敵な本を、他の人にも紹介してみませんか？ 題名と著者とコメントを紙に書いて図書館へお寄せください。

聖籠町立図書館
SEIRO TOWNSHIP LIBRARY

〒957-0117

新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山 1560 番地 1

電話番号：0254-27-6166 FAX：0254-27-6167

